

.....
○議長（堀江 政武君） 暫時休憩とします。

再開は都合により2時30分ごろとします。

午後1時28分休憩

.....
午後2時28分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 皆さん、こんにちは。初日の一般質問の終わりとなりました。

3月に入って寒い日が続いております。3月といえば、出会いと別れが伴う時期ではないかなというふうにも思います。人生とは何かに出会うこと、また、めぐり会うことの重なりのようにあります。この世で誰かにめぐり会うことは、人生の大切なことだというふうに思います。出会いが人生を補っているともいうふうに思います。そして、出会いには必ず別れが伴います。さまざまな出会いと別れを重ねて、それに鍛えられて、それに感動して、あるいは苦しい目に遭って、それらがみんな栄養になって人間が変わっていく。そして、理想的な人間になって生涯を終えるのが一番望ましい人生じゃないかなというふうに思います。

また、3月といえば、沿道、河川敷、公園等々の桜のつぼみも膨らみを増し、今か今かと花開くのを待っている気がいたします。第1回定例会も桜の花のようにきれいに咲いて散りたいものです。

それでは、通告どおり3項目の質問をさせていただきます。

まず1点目でございます。今回は質問がダブっておりますので、割愛されるところは割愛されても結構です。行政全般についてということで、地方創生の市の組み立てについてお伺いをいたします。

政府が打ち出された地方創生、まち・ひと・しごと、この創生事業に、地方に仕事の場をつくり、若い働き手を定着させて地方の活性化を図る計画じゃなかろうかなというふうに思います。また、合併特例債というのがありまして、そのときには、自ら考え自ら行う地域づくり事業ということで交付金が設立されたと思います。これもこれも、実効ある提案をしなければ交付金も生きてこない、この交付金をうまく使うかどうかは、やはりトップのやる気次第というふうに思いますので、その辺をよろしくお伺いをいたします。

また、2点目でございますが、この1の創生の組み立て、交付金を使いながら人口減少に歯どめをどのようにかけていかれるのか。先ほど小島議員の質問と重なる面がありますが、詳細について、一問一答でお願いをさせていただきます。

それと3点目ですが、航空運賃低廉化対策ということで、私、全員協議会の折に質問をいたしました。イベントがあるときの空港運賃の値下げというのができないかという質問をいたしましたら、市長のほうで答弁で、ANAさんと協議をしておりますのでという答弁でございました。その詳しい中身について、少し触れさせていただきたいというふうに思います。

また、2項目目でございます。

子ども夢づくり基金の執行状況ということで、26年度から始まっております子ども夢づくり基金、現在までの執行状況を精査されて、どのように新しい取り組みにされるのか。この執行状況を見てみますと、やはりスポーツ関係、学校のクラブ等々の方面に助成をされているのみじゃないかなというふうにも思いますので、子どもは島の宝だというふうに大人はみんな言われますし、また対馬教育要覧にもそのようにうたっております。

このことを考えてみますと、やはりもう少し子どもの夢を膨らませるすばらしい事業がなされるのを期待をしておりましたが、まだまだそこまでは至っていないということで、1年目ですからそうだろうというふうに思いますが、今後この1年間を精査して、どのような子どもたちの夢づくりに基金を使えば子どもたちの夢が膨らむのかということをし、一問一答でお願いをしたいと思っております。

それと、3点目になりますが、3項目目の1点目、市道堂坂線改良工事についてということで、これは皆様御存じのように堂坂線、舟志から琴間ですね、韓国の観光客が一番バスで使っている道路でありまして、新しい道路、県と市のスクラム事業として着手をしてあるというふうに思います。その進捗状況についてお伺いをいたします。この事業として55億円、15年程度というふうな説明がございました。これも何とか地方創生のほうで組み立てて、1年でも早い完成を目指していただきたいというふうに思います。

国のほうでも、参議院の地元出身の先生が地方の幹線道路整備を急ぐよう国側に求め、総理は、地域は創生していく上で道路整備は極めて重要と認識を示したということで、国交大臣は県内で建設中の道路を念頭に、少しでも早く地元の要望に従い努力をしたいという答弁もあっておりますので、そこら辺も精査しながら答弁をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 春田議員の質問に答えさせていただきます。

1点目の、行政全般に関する事で、地方創生の話でございました。今後の市の組み立て等について、また、人口減少の歯どめに対して市が先頭に立ってというふうなお話も出たかと思っております。まずもって、この点について答弁をさせていただきたいと思っております。

地方創生に絡みましては、マスコミ報道等でいろいろ出ておりますので、十分に議員の皆様ももう御存じだと思っております。

本市においては、12月に対馬市の人口減少対策協議会というのを設置をし、昨年12月末に国の長期ビジョンと5カ年の基本目標を示した総合戦略が発表をされました。これを受けて、対馬版の長期ビジョンと対馬版の総合戦略の策定に向けて本格的に取り組みを始めたところであります。

今後、人口ビジョンと総合戦略策定につきましては、国の方針等を勘案して、第1に安定した雇用創出に向けて。第2に新しい人の流れをどうつくっていくか。第3に若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるということ。そして第4に時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守る施策。この4つの大きな柱に向かってこの組み立てをしていきたいというふうに思っております。

このビジョン等を策定するに当たりましては、国のほうが3つの支援策、情報支援、人的支援、そして財政支援という3つの柱で支援をしていきますよというふうなことが公表をされておるところであります。

最後の財政支援につきましては、自由度の高い交付金というものをフルに活用して、31年度までの5カ年間の重要な取り組みとして施策展開を図っていかなければならないというふうに思っております。

いかんせん、その方向性というのは、27年度中に組み立てをさせていただきますので、27年の中途においてか、その方向性が見えてきた暁には、国の制度等を活用しながら取り組んでいくことになろうかというふうに思っております。

航空運賃の低廉化の問題がございます。これにつきましては、先だってANAとの協議を今進めている段階ですというふうな話をさせていただきましたが、御存じのように、この運賃が高額であるというために、国内からの誘客が伸び悩むというのが私ども対馬の大きなネックになっているというふうに思っております。それも一因だと思っております。

海路については、県のリプレイス事業とか市の運賃割引事業の補助金というもので2割の低廉化を図っておりますが、空路につきましてはまだ組み立てがされていないというのが実態であります。私ども島民側のアイきっぷとかそういうものはございますけれども、島外からの入り込み客に対することがなされていないというふうに思っております。

それらをどのようにしていけばよいかということで、低廉化事業というものに、ANAさんですね、全日本空輸さんと相談をしながら、この対馬・福岡間の航空運賃の低廉化モデル事業というものを組み立てていきたいということで、実証実験を27年度中にやる予定で、今予算に計上をさせていただいたところであります。

これにつきましては、特割とか旅割とかいろんな制度がありますが、それらの制度を拡充しながら、対馬に入り込みやすい状態をつくっていきたいという考え方であります。できれば、3カ

月間を実証期間というふうに捉えておりますけども、その3カ月間、5%の増というものを目標にやっっていこうということで取り組みを始めたということで、ANAさんと協議を進めておるところであります。

続きまして、2点目に入る前に、3点目を先に私のほうからさせていただきます。

3点目の、市道堂坂線の道路改良工事の進捗の問題だというふうに思っております。

もう御存じのように、この路線につきましては、上対馬地域の方々のみならず、今対馬の南から抜けていくに当たっても、東の道路というのはとても重要な道路であります。そして、もみじ街道という資源を持ち合わせておる地域であります。あのもみじ街道が、県道ゆえになかなかその改良を進めていくというのが難しいといえますか、資源を壊してしまっただけでは意味がありませんので、別立てでやっっていこうということを県のほうにお願いをし、県のほうも市道でやりながら県のほうがそれに対して一定の財政支援をするという、県と市のスクラム事業ということで組み立てをしていただいて今進んでおるところでございますが、いかんせん、国の交付金関係の伸びというのが私どもの要望に対してすごくまだまだ足りない状況にあります。

毎年の内示額というのは、市道の道路事業に関しましては、24年が3億3,500万円、25年が5億900万円、そして26年が6億4,600万円と伸びてはいるんですが、私どもが要求をしておる金額というのは当然はるかに多い金額でございます。採択率といえますか、配分率というのが4割に26年度は満たない状況でございます。どうかして、この要求額というのが満額に近い形で採択されるように、私どもも努力をしていかななくてはいけないと思っておりますし、そのことが、せっかく始めた事業が早くにでき上がり、そして島にお住いの皆様方、市民の皆様方にとって早期に恩恵が受けられるような形をつくり込んでいきたいというふうに思っております。

2点目につきましては、教育長のほうが答弁をまずして、その後に私のほうに返させていただきます。一度退席させていただきます。

○議長（堀江 政武君） 教育長、梅野正博君。

○教育長（梅野 正博君） 子ども夢づくり基金についての現在までの執行状況を精査して、今後の展望ということの前段について、私のほうから回答させていただきます。

昨年度、平成25年度までの実績でございますが、平成25年度までは対馬市社会教育振興費補助金を活用して社会教育の振興を図っており、主にスポーツの分野での当該大会へ参加するための補助を行っており、児童・生徒へ59件、809万、4,056円を支出したところであります。

今年度、26年度からの基金運用についてですが、今年度から本格的に運用しております対馬市子ども夢づくり基金につきましては、関係部長、局長で構成する運営委員会において基本的事

項を慎重審議し、福祉部こども未来課に事務局を置き、基金運用を図っているところでございます。スポーツ活動、文化活動、体験活動、交流活動については、事業内容及び補助率の拡大を行い、また、新たな取り組みとして島内3高校への進学、就職、韓国語検定への就学支援など、子どもたちの活動を幅広くサポートしているところでございます。

実績といたしましては、教育委員会所管の今年度1月までの活用実績ですが、スポーツ文化活動事業に109件、1,608万4,000円、就学支援事業に208件、207万5,600円、対馬っ子夢づくり創出体験活動モデル事業等で7件、87万8,000円を支出しております。

また、26年度はこの夢づくり基金の活用を図って、新たに平成の朝鮮通信使交流事業、つまっ子郷土読本作成事業を実施し、子どもたちへの郷土を愛する心の醸成に努めているところでございます。

平成の朝鮮通信使交流事業では、対馬市内小学校5、6年生から希望者を募り、15名の参加により、岡山県瀬戸内市牛窓を訪問し、通信使行列への参加や陶芸体験、お互いの市の歴史や特色など牛窓の子どもたちとの交流を深めてまいりました。

来年度、27年度は雨森芳洲先生の生誕地である滋賀県長浜市高月町を訪問する予定としております。

また、郷土読本ですが、26、27年度の2カ年事業として対馬の地理、動植物、歴史、偉人等の内容を掲載し、子どもたちに親しみやすく、わかりやすい郷土読本を作成中であり、今年度は執筆、原稿づくりを行い、27年度は編集、校正、印刷、製本を予定しております。学校における総合的学習や、社会科等の授業や、地域の宝探しの手引き書として活用することを考えております。

本基金を積極的に活用いただくため、対馬市校長会や教頭会での説明及び市内の3高等学校への周知、必要に応じた事務説明会などを実施しています。

今後は、市民の皆さんや市民活動団体等からこのような事業はできないのか、対馬の子どもたちにこのような体験活動は必要ではないかなどの幅広い声を拝聴しながら、教育委員会としての基金活用案を市長部局に積極的に提案、要望していきたいと考えております。

島内の小・中・高等学校の児童・生徒が、将来の夢に向かって素質を開花させ、有能な人材として成長し、郷土への定住と里帰りの島づくりへの思いを育てていくことが大切であり、「地域から学ぶ、地域が先生」をモットーに、今まで以上に地域とのつながりを深めていきたいと考えているところであります。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 答弁をいただきまして、どうもありがとうございます。

1点ごとにまとめていきたいというふうに思います。

1項目めには3点ありましたが、これもほとんど一緒の流れで、航空運賃低廉化については大体そのようにわかりましたので、1億今回組んであるということで、その事業の中で進めていくんだということだろうというふうに思います。よろしくお願いを申し上げます。

2点目の人口減少歯どめ策ということで、小島議員の質問と一緒になるんですが、やはり思い切った施策をしなければ人口は減る一方ではないかなと。ただただ挨拶の中で、対馬はもう人口がないからなというのが今は皆さん常です。そういうことで、人口が減少することによって予算はつかないわけですから、皆さんわかっているんですが、なかなか人口を増やすためにどうするかというのが、細かいポイントというのが出てこないということで、先ほど小島議員も話しておりましたが、私のほうでは婚活について、やはり長崎市のほうで窓口には婚活部という部をつくられておられます。そういうことで、行政の中にいろいろ職員さんの中にもこのことにたけた、ノウハウのある人がいっぱいおられると思います。そういうことで、婚活部を立ち上げられて、その中に支援者として市民を募集なり何なりをされて、そこの中で組み立てていくというのが私は大事ではなからうかなと。

福祉のほうに委託をされてやっておられますが、なかなか地域ごと、6町でやってあるんですが、めぐり会いイベントということでやっておられます。先ほど市長の答弁の中で9カップルというような話もございました。しかし、もう一押しというのが私は大事じゃないかなというふうに思うんですね。

今未婚者であられる男性2,000人、女性1,000人というふうに小島議員さんおっしゃいました。そのカップルができ上がれば、子どもは何百人できるのかなというふうにも考えますと、必ずこのことを成功させなければ、やはり人口は増えないんじゃないかなというふうに思いますので、やっぱりこれは市全体として、市民、行政、議会一体になって取り組んでいかなければ、福祉協議会に任せ切りでいいのかなというのも、私はちょっと疑問符がつけられるんですが、そこら辺、市長、何か答弁ありましたら。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 婚活の話がございました。先ほどの小島議員さんの答弁でも申し上げましたが、人口減少対策協議会において、今の意見というものを踏まえて方向性というのを出していくことになろうというふうに思います。

1,000名、2,000名の方たちが家庭を持たれてお子さんを授かるということによって、地域に力が出るということでございます。それは間違いないことだと思っております。外に任せっ放しじゃなくてということも十分にわかりますが、先ほど職員にもそのノウハウを持った人間がおるんじゃないかとおっしゃられましたが、職員の顔がぱっと私には浮かびませんが、しかし、市民の中に、職員もそうなんですけども、結婚していない未婚の人たちもいっぱいいるん

ですが、どうかして結婚をして家庭を持つということに対して踏み出していただけるように、行政としても考えていきたいと思っております。私の個人的なことではなくて、先ほど申しました人口減少対策協議会の中で、議題としてきちんと論議をしていただきたいと思っております。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 大体わかりますが、やはり根本的に組み立てをしていかなければ、この挨拶だけで終わる人口減少というのは、県内どこの市町村も新聞を見ますとほとんどが人口減少対策というのが打ち出されているわけですね、やはり離島は特にそうだろうというふうに思うんです。だから、離島は離島のやり方というのもありましようけど、やはり税を投入してでもこのことについて取り組んでいかなければ、前向きにはならないというふうに思います。よろしくお願いをいたします。

それと、2項目めで子ども夢づくり基金の答弁がありました。ちょっと前後しますが、先ほどの人口減少対策で、3月1日に県立高校3校の卒業式がございました。厳原、対高、対馬高校が170名卒業で、対馬島内に残られるのが15名、上対馬高校が43名卒業で10名残られる、豊玉高校が21名で残られるのが5名、合計30名の高校生、卒業生が島内に残られるということであります。これは、対馬高校にしてみればずっと年々増えているわけですね、5名なり3名なり増えております。これも就職の就学金のせいもあるかなというふうにも思いますし、また、市民の皆さんの人口減少対策に何とか手を打たなければという気持ちの表れかなというふうにも思っております。

どんどん残るといいことですからいいんですが、やはり一番大きな問題は、仕事がないと、対馬におっても仕事がないもんねというのが挨拶なんですね。そこも少し行政、議会一体となって考えていかなければというふうにも思います。仕事があれば、本当に高校生のアンケートで見えますと、この自然の豊かな自分が生まれた所で生活をしたい、生涯を送りたいというようなアンケート結果が68%というふうに出ております。そういうことも我々成人者、大人として考えていかなければいけないんじゃないかなと。バイオマスについてもそれだけ自然が多いわけですから、そこら辺のやはり組み立てもしながら働く場も一生懸命努力をされて、またいろいろなことを打ち出して働く場所をつくっていただきたいなというふうに思います。

それでは、2項目めの子ども夢づくり基金についてですが、現在の執行状況というのは先ほど教育長が答弁されました。

それで、私が一番思うのは、スポーツ団体、あるいはそういうような活動団体に助成をされるのは結構いいことだと思います。しかし、子どもたちの夢ですから、夢を膨らませるためですから、やはり小学生も中学生も高校生も自然豊かな対馬で育って対馬に残りたいというのが多いんですから、やはり対馬の自然を活かした体験学習というのをまだまだ増やしてやっていかねば、

子どもたちも和やかな雰囲気での学習ができるんじゃないかな、それが子どもたちにしても、また保護者にしても、家庭においても、地域においても、本当に子どもたちのすくすく伸び伸びとした姿が見られるんじゃないかなというふうにも思います。いろいろ学校の中でも問題が起きておるわけですが、そういうのもやっぱりこの体験学習、保護者、地域と一緒にやっていくことで解消ができるんじゃないかなというふうにも思いますので、そこら辺に力を入れて、生涯学習、子どもから高齢者までの広い範囲で大変だろうというふうに思います。これも職員だけでやるんじゃなくて、やはり各種団体、社会教育委員、あるいは公民館運営委員、そういう団体も引っ張り込んだ子どもたちの夢づくりに使っていただければなというふうに思います。

そういうのを私は引っ込み思案じゃなくて、どんどん出していいと思いますよ。それで、やっぱり報酬を払うのは夢づくりで報酬を払ってもいいですから、そこら辺をきちんとしたものを出して行って、子どもたちが本当に対馬で育って、それが私はまたUターンで帰ってこられると思うんですよ。それにもつながると思いますので、そこら辺も教育委員会として、生涯学習課として大変忙しい仕事場の中でありながら、そういうことも組み立てていかなければ、いってもらいたいなというふうに思います。

こども未来課のほうにつきまして、2、3項目の事業が行われております。この交流事業というのだけでいいのかというのがありますし、対馬と対馬の子どもたちの体験というの私は大事じゃなかろうかな、外に出すだけが交流事業かなというふうにも思っております。

皆さん御存じのように、峰町には青年の家というのがあります。青年の家を拠点とした体験学習というの今後考えていただいて、そこを拠点にして子どもたちと地域と地域の大人が体験できる、またそれを活用しながらやっていくことで峰町の活性化につながるというふうに思いますので、これも県の施設でありましたが、今は委託だというふうに思っております、市が委託を受けているということで、補助金を出し合って運営をしてあるというふうに思っております。いろいろな活動はなされておりますが、なかなか保護者も地域も忙しくて事業が組めない状況のところもありますけれども、やっぱり夏休みとか、そういう休みを利用された計画を立てられてやっていけば、子どもたちの夢も膨らむんじゃないかなというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

それから、前後しますが、航空運賃の低廉化であります。負担金として1億円今予算で組まれておるんですが、国境離島であり、かつ遠距離離島である対馬において住民が持続的に暮らしていくためには、航空運賃の低廉化を図り、国内からの交流人口を拡大させていく必要があります。国境離島新法設定後における国境離島活性化対策事業の一つとして、航空運賃低廉化制度創設を国に求めていくものに、運賃低廉化モデル事業を実証し、その結果を国に示していきますということでありますので、やはりこの実証事業をきちんとしたものをやられて国のほうに伝えられて、

または国のほうに我々議会も陳情に行かなければいけないときには一緒に行って、一緒に取り組んで、このことについてやっぱり対馬に国内の観光客を呼び込まないと、私はこの対馬も人口も増えないし、活性化もしない、発展もしないというふうに思いますので、そこら辺に力を入れてやっていく必要があるなど。

韓国の観光客は20万人を超すだろうというふうに言われております。比田勝港は、今国際ターミナルの建設中で、本当に国際的な港湾、波止場になってくるだろうというふうに思います。そこはそことして、この航空運賃も国内の旅行客を呼び込むためには、やはり低廉化に向けて努力していかなければいけないなというふうに思います。

また、船のほうですが、厳原・博多航路の県の施策により、運賃を2割低廉化しています。また比田勝・博多航路は離島航路補助制度上の国家補助を受けて運航されているため、運賃低廉化の対象外航路となります。そのため南部と北部の運賃の格差が発生するんですが、その発生を抑制するために市で補助し、厳原・博多間の航路と同様の割引きをいたしますということですね。これは、本当にそのようにしていただければ、南の船、ジェットフォイルじゃありませんが、この船の運賃を割引きして格差をなくすということは島にとってはいいことじゃないかなというふうに思います。

それで、市長、子ども夢づくり基金について、まだ未来課としての取り組み、今後新しい取り組みは何か考えてあるならばお願いをしたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 27年度子ども夢づくり基金を運用して事業展開を、まず庁舎内で募集を図って組み立てをする予定であります。

子どもたちを、この対馬が当然ながら今おっしゃられるように、好きになっていただかないといけません。そして、大人になってもやはり対馬でという思いをずっと持ち続けるような事業というのはすごく大切だというふうに思っています。

そういう意味において、先ほど御提案がありましたように、峰の青年の家の活用というのは大変重要な事業だというふうにこちらも思っております。この2、3年、5,000人という利用が増えて、とても元気を出していただいております。

あそこは、皆さん御存じのように、やはり島のちょうど、子どもたちにとっても宿泊施設の共同の、合宿所ではないですけども、そういう使われ方に最適の場所だと思いますし、自然もいっぱいあります、川もあります。それらを使いながらの事業というのをこれからは青年の家におかれましては展開を図っていただくということは、所長さんとも、たびたびお越しですけども、お話はさせていただいております。

それと、その27年度のお話でございますが、子どもたちに将来消防士なんかになって残って

もらうためにもということで、泊りがけの、消防士の指導ということはないでしょうけれども、模擬でやっていくみたいな形のものを消防のほうも考えて組み立てていただいております。

それ以外でも、子どもたちと大学生との連携ということも、せっかく域学連携事業をやっております。26年度は460人の学生さんたちが入ってきてくれました。その学生さんたちが、対馬の子どもたちとのいろんな形での関わりをさらに広げてもらおうと思っております。27年度は、長崎県立大並びに九州大学のほうがある程度、今度はさらにまとまった人間を送り込むという計画も持っていていただいております。今まで以上に大学生が、また大学院生がこの島の中で子どもたちと、当然地域社会の中でまじり合いながら、お互いを高めていくという機会を子どもたちに提供をしていきたいというふうに私どもは考えておるところであります。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 本当に、今、峰の青年の家の所長さん一生懸命頑張られるんですね、いいことだというふうに思います。

今の峰の話がありました。子どもたちが対馬を出ないで残るためにも、林道整備を体験したり、間伐材を利用して子どもたちに丸太家づくりとか、そういうものも計画しながら、対馬でこういう体験ができたな、対馬だったらこういうことができるからUターンしようかなというようなことも出てくるというふうに思いますので、これも一生懸命取り組んでいかれるようお願いをします。

また、先ほど言われました子ども消防、そういうのも本当に峰のあそこで泊まり込んでやって、今聞いておりますと、対馬の子どもたちは、消防の試験はなかなか難しいという状況にありますので、子どものときからそういう体験をして、また災害にも役に立つというふうに思いますので、そこら辺のことも視野に入れながら取り組んでいただきたいなというふうに思います。

それと、もう一つ、このことは県内の小学校、中学校であちこちでやっているんですが、子ども議会というのをやっております。子どもたちに政治の場でいろいろなことを経験させるということで、子ども議会というのが新聞に載っていますが、県内で何カ所もやっています。対馬も私はそういうのも夢づくり基金を使ってやっていかればなというふうに思うんですが、これは提案ですけど、そうすることによって傍聴席には保護者がいっぱい並ぶということで、子どもの成長も見られる、また大人も議会の場がわかるということで、そういうような全体的に市民、議会、子どもと大人というのがマッチできるものにつくり上げたらいいなというふうに思いますので、そこら辺も今から議長、議会も一緒になって取り組んで、教育委員会と取り組んで、子ども議会というのを新しい夢づくりの取り組みとしてやっていただいたらいいなというふうに思います。これは要望です。

これも議会と行政の承認も要りますので、そこら辺も教育委員会のほうから提案をしていただいて、一緒に取り組んでいって、子どもたちに政治はこうだよというのがわかるような夢づくり、これも一つの夢づくりですから、そういうのも計画をなされながらやっていくことで、また子どもがここに座ることで、保護者もいっぱい傍聴席に来られる。そういうのをみんなで勉強しながらやっていけば、まだまだ対馬も明るい日が差してくるんじゃないかなというふうに思いますので、よろしく願いをいたしまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） 春田新一君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） これで、本日予定をしておりました一般質問は全て終わりました。

明日は、本日に引き続き午前10時より市政一般質問等を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後3時13分散会
